

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	○身体拘束をしないケアの実践 施設内研修会でスピーチロックについて学んでいるが、立ち上がろうとされた利用者に「座って。」と言ってしまうことがある。	職員一人ひとりがスピーチロックを意識して、利用者の尊厳を遵守できるよう身体拘束につながる行動や言葉を留意しかかわっていく。	身体拘束について研修会や勉強会で学んだことを振り返り、良くないところは互いに注意しあえる環境を作り、身体拘束をしないことを実践する。	12ヶ月
2	49	○日常的な外出支援 外出行事でよく戸外へ出かけていたが現在はコロナウイルス感染予防の為、外出は自粛している。	情勢を考慮して少しでも利用者が外出できる機会を設ける。	行事計画で車窓ドライブや花見など近隣で実施できる季節行事を増やす。利用者が慣れ親しんだ美容院、医院などにも付き添い個別に対応する。買い物は定期的に施設に来訪する移動スーパーを利用し支援を行う。	12ヶ月
3	38	○日々のその人らしい暮らし 認知症の進行により利用者が思いをうまく伝えられないようになってきている。また職員が業務を優先してしまうことがある。	利用者主体の暮らしができるように支援する。	業務を優先せずに一人ひとりの利用者とかかわる時間を増やす。職員間でケアの振り返りを定期的に行って情報を共有し、利用者が何を望んでいるのかを探る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。